

# 人権だより

No.320 (2025.1)

## サッカーから考える人権と教育

せいとか わきもと けんたろう  
生徒課 脇本 健太郎

わたし じんせい か いま  
サッカーは、私の人生に欠かせないものである。今となって  
せかいじゅう あい した じんけん きょういく  
は、世界中で愛されるスポーツとして親しまれ、人権や教育につ  
かんが あた とくべつ そんざい  
いても考えるきっかけを与えてくれる特別な存在となっている。  
わたし つう おお かんが まな ふか  
私たちはサッカーを通じて、多くのことを考え、学びを深める  
ことができる。



しあい すべ せんしゅ びょうどう じょうけんか きそ あ  
試合では、全ての選手が平等な条件下で競い合う。ルール  
こうへい てきょう せんしゅ しどうしゃ しんぱん かか  
は公平に適用され、選手、指導者、審判、サポーターなど関わる

すべ ひとびと そんちよう ば ひと う も びょうどう けんり  
全ての人々が尊重される場となっている。これは、人が生まれながらに持つ平等な権利や、  
さべつ う けんり しょうちよう もと せいしん がっこうせいかつ  
差別を受けない権利を象徴している。サッカーで求められるフェアプレー精神は、学校生活や  
ちいきしゃかい たしや そんちよう きょうりよく たいせつ おし  
地域社会で他者を尊重し、協力することの大切さを教えてくれている。

たようせい みと あ ば こと くに ぶんか せんしゅ おな  
また、サッカーは多様性を認め合う場でもある。異なる国や文化の選手が同じチームでプレ  
とくちよう い もくひよう たっせい すがた たようせい ちから しめ  
ーし、それぞれの特徴を活かして目標を達成する姿は、多様性が力になることを示している。  
わたし がっこう ちいき たが みりよく ちが みと あ きょうりよく よ かんけい きず  
私たちの学校や地域でも、互いの魅力や違いを認め合い、協力することでより良い関係を築  
くことができる。

きょういく おお やくわり にな ひんこんちいき こ  
さらに、サッカーは教育でも大きな役割を担っている。貧困地域では、サッカーが子どもたち  
ゆめ きぼう あた きょういく きかい ていきょう おお そんざい  
に夢と希望を与えるだけでなく、教育の機会を提供するプロジェクトが多く存在する。サッカー  
がっこう かよ こ かずおお かつどう すべ こ  
をきっかけに学校へ通えるようになる子どもたちも数多くいるだろう。これらの活動は、全ての子  
びょうどう きょういく う けんり も ささ  
どもが平等に教育を受ける権利を持っていることの支えとなっている。

たん わたし じんけん きょういく たいせつ かんが こうどう うつ  
サッカーは単なるスポーツではなく、私たちが人権や教育の大切さを考え、行動に移すた  
あた わたし す にちじょうせいかつ こうへい たようせい  
めのヒントを与えてくれる。私たちが過ごす日常生活でも、サッカーのように公平さや多様性を  
そんちよう ぜんいん まな ふか せいちよう かんきょう つく よ みらい  
尊重し、全員が学びを深め、成長できる環境を作っていきたい。それこそが、より良い未来を  
きず だいいっぱ  
築くための第一歩となるだろう。

**【保護者の声】** 文章を読んだPTA人権委員の方の感想です。

スポーツが子どもたちに与える影響は非常に大きいものだと思います。子ども同士、子どもと先生、地域等の大人など、様々な人達と関わることで健やかな成長が期待できます。技術や技能の向上だけでなく、お互いを認め合い、思いやる心を育むことができる価値のあるものですね。先生方の学校生活や部活動における指導をする上での思いが、子どもたちに波及し、まっすぐに大きく羽ばたいてくれることを祈っています。(3年生保護者)

**【人権委員の声】**

サッカーをはじめ、スポーツは全ての選手が平等に競い合うことができる。そのスポーツのルールやきまりを我々の考え方に反映することができれば、平等でできな世の中になっていくと思う。心の中で、世界中の人々と「サッカーをする」ことで、平等で公平な世界になるのではないかと思った。(3年生人権委員)

サッカーのように、身近なところにも人権に関することがあり、サッカーのおかげで助かっている人たちがいるということを知って、自分も身近で人権に関するものがないか意識しながら生活をし、そこから何か発展しないか考えながら過ごすことをしてみようと思いました。(3年生人権委員)

何気に身近にあるサッカーが、こんなにも人権問題に働きかけてくれるものだと知りませんでした。僕はスポーツを見るのが好きで、見るたびにスポーツは人種も国籍も関係なく、世界が一つとなれるすばらしいものだなと感じます。星野源さんが制作した世界陸上のテーマソング「生命体」の歌詞に「風に肌が混ざり溶けていく」という歌詞があって、スポーツは肌の色も関係ない、本当に誰にとっても楽しめるすばらしいものだなと感じさせられます。(5年生人権委員)

日頃私たちに親しみ深いスポーツではフェアプレー精神のように参加者が皆対等な関係で協力することが求められているということがよく理解できました。一人一人の得意なことを生かしてお互いを認めながらプレイすることがスポーツの基本的なことだと思いました。スポーツをきっかけに、公平性や多様性を学ぶことができたらいいなと思います。(6年生人権委員)